



菅生石部神社

加賀國二ノ宮
加賀・江沼総鎮護

旧大聖寺藩藩祭

天神講

天神講の夏越の祓する人は
千歳の命延ぶといふなり

令和5年

7月24日[月]・25日[火]・26日[水]

夏越の祓

疫神塚神事

湯ノ花神事

25日(火)

17時30分頃～

～昔 懐かしい～
ちんどん屋
練り歩き
&
ステージショー



「まいどはや」
全日本ちんどんコンクール
上位入賞

19時00分頃～

～関西より来演！～
三波春夫そっくりさん!!

歌謡ショー



24日(月)

舞殿

境内・その他

10:00 10:00～ 夏越の祓 (拝殿)

11:00

10:45頃～ 茅の輪神事

12:00

どなたでも参加できます。
神職と一緒に茅の輪をくぐりお祓いしましょう。

13:00

14:00

15:00

15:00～ 蝶の舞

※配布：24日 15:00 より
先着 200 名様に
※対象：小学 6 年生までの
子ども

16:00

17:00

17:00～ 子どもビンゴ大会

18:00

18:00～ 天神講特別講座 「聖徳太子の頭脳」作家 竹田真砂子

19:00

会場：斎館 参加無料

20:00

D-KLive(デジタル掛軸)

模擬店 夕方～
・焼き鳥 ツキノハナ
・鉄板焼 華蓮
・さめつり

25日(火)

舞殿

境内・その他

10:00 10:00～ 疫神祭 (拝殿)

11:00

12:00

正午頃～ふるまい餅

13:00

14:00

15:00

15:00～ 蝶の舞

16:00

17:00

17:30～ ちんどん屋さん「まいどはや」

18:00

18:00～ 十万石太鼓

18:30

18:30～ 錦城能楽会

19:00

19:00～ 三波春夫 歌まねショー

20:00

19:30～ 抽選会

模擬店 正午頃～
・日本そば、
・草だんご(栢野大杉茶屋)
・焼き鳥 ツキノハナ、
・鉄板焼 華蓮
・似顔絵
・さめつり など

豪華景品多数!

※抽選時に会場にお越しでない場合は無効となります。

26日(水)

舞殿

境内・その他

10:00 10:00～ 湯の花神事 (拝殿)

11:00

10:45 頃～ 蝶の舞

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

加賀で唯一の
貴重な稚児舞
『蝶の舞』
天神講の三日間、舞殿では錦の
狩衣に赤い袴、烏帽子をかぶり、
化粧をした「お稚児さん」と呼ばれ
る氏子の少年による蝶の舞が奉納
される。
舞には「扇の舞」「鈴の舞」「蝶
の舞」があり、総称で蝶の舞と呼
ばれる。
古来、日本には「神霊が幼い子
供の姿を借りて現れる」という信
仰があり、稚児を神仏の顕現と見
なしていたため、稚児舞は日本全
国の神事で見ることができ、今では加
賀地区では唯の稚児舞となった
貴重なものだ。



19:30～
tori licca(トリイリカ) 弾き語り
D-KLive(デジタル掛軸)

夏祭りに込められた 日本人の祈りと智恵を 感じ取る敷地天神講。

敷地天神講は、創祀以来千四百年
余り続き、江戸時代には大聖寺藩の
藩祭として藩主はじめ江沼の地に住
む住民全てがお参りしたと言われて
いる菅生石部神社の夏祭り。

七月二十四日から三日間続く特殊
神事（国家神道化されていない神社
固有の古伝祭祀）は全国的にも大変
珍しく、人々の病氣、罪、穢れ、災
難、厄などを祓うことで元の姿へと
戻し、あわせて、人々の安全、幸福
と五穀豊穡を祈願する。

紙垂などの神社で使う主な紙はこ
のときから十二月まで黄色に変わる
のは全国的にも非常に珍しく興味深
い。黄色は神聖な色で魔除けの意味
合いがあるという。

昭和の大戦までは、東は小松のお
旅（おたびまつり）、西は敷地の天
神講とよばれ大変多くの人で賑わい
をみせた。往時は、神社前から永町
を通り、今の久藤病院先の信号を右
に曲がり、弓町まで露店が道路の両
側に立ち並び、神社境内やその周辺
ではサーカス、芝居、映画、相撲、
駅伝などが行われていたそうだ。



第1日祭 夏越の祓



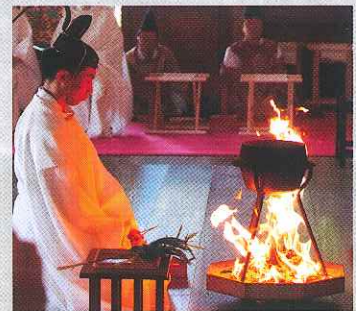
12月31日を年越というのに対して、
夏から秋へと季節が変わる6月30日
（本来は旧暦の6月30日）を夏越と言う。
古くから日本では半年が終わるとい
う節目に、日頃の穢れを取り除く夏越
の祓の行事が各地で行われてきた。す
でに天武天皇の時代から六月晦の日に、
内裏朱雀門に天皇以下百官が集まり、
茅の輪をくぐって邪気を払ったとされ
ている。

第2日祭 疫神塚神事



真菰で作った籠のような塚に
罪、穢れ、災難や厄などを封じ
込める。古代の人は、疫病が生
ずるのは「疫神」の仕業と考え
ていたようだ。このため、古く
から「疫神祭」が行われてきた。

第3日祭 湯の花神事



釜に湯を沸かし、神霊がよるとい
う聖なる湯をもって清めることで罪、穢
れ、災難や厄などを祓い清め、健康と
五穀豊穡を祈る。水によって心身を清
め、罪穢れを洗い流して川を通じて海
の彼方に祓いやることは、日本の様々
な風習に見ることができる。湯はその
水をこれも清めの要素である火で熱し
たものであるから、より祓いの力が強
いかもしれない。

この3日間に、人の形をした紙に自らの罪、穢れ、災難や厄などを込めて納め
ていただきますとお祓いをします。境内案内所にて受付をしております。